

○ 世界の注目が集まる2020大会に向けて、観光資源の魅力を高め、旅行地としての競争力を強化し、旅行者の受入・リピーターの拡大に取組むことが重要

○ 観光がわが国をリードする産業として発展を遂げるよう、供給サイドの観光需要獲得への対応と国内旅行を含めた旅行需要の拡大に向けた観光産業振興策の充実が必要

○ 旅行者の急増に対応する受入環境整備や旅行者の安心・安全の確保、高齢者・障害者等が快適に旅行を楽しめる環境づくりなど観光インフラの着実な整備が必要

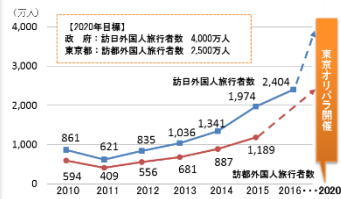
- ・ 2016年の訪日外国人旅行者数は2,400万人を超え、2020年・4,000万人に向けて増加が続く見込み
- ・ 一方、滞在先の5割は東京・大阪・京都に集中。日本各地の魅力向上や広域連携の強化が必要
- ・ 先-タ-は日本の生活・文化体験(コト消費)を求めており、ニーズに対応する観光資源の磨き上げが急務

- ・ 都内中小企業でもインバウンド需要に対応している企業は少なく、未だ需要を取り込む余地が大きい
- ・ 都内ホテルの稼働率は8割、今後も客室数の不足が予想され、宿泊施設の充実と多様化が急務
- ・ 訪日旅行者の約7割が東アジアからであり、近隣国に依存しない欧米豪からの誘客拡大が必要
- ・ インバウンド急増の一方で、アウトバウンドは横ばい、国内旅行は長期低迷が続いており、旅行需要全体の安定的な拡大に向けた取組が求められる

- ・ 急増する訪日旅行者に対応するため、首都圏(羽田・成田)空港の容量拡大や地方空港の活用など、様々な取組が求められる
- ・ 日本への旅行の不安材料では、言語・コミュニケーションが上位に挙げられており、最先端技術の活用やサービス実装を進め、2020大会を観光インフラ改善のショーケースに
- ・ 観光シーズンにおける自然災害等の発生を想定し、緊急・災害対応に向けて万全の備えが必要

外国人旅行者数の推移

訪日外国人旅行者の宿泊先 (2016年)



1位	東京都	25%
2位	大阪府	14%
3位	北海道	10%
4位	京都府	7%
5位	沖縄県	6%

○ 東京、京都、大阪の3都市で4.7%
○ 上位5都道府県で6.3%
⇒ 地方において受入余地が大きい

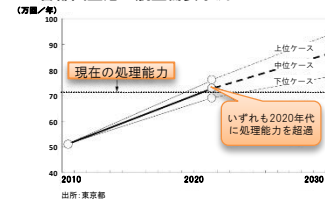
訪日外国人旅行者数の内訳 (2016年)

国内外の旅行者数の動向

中国	637万人	27%
韓国	509万人	21%
台湾	416万人	17%
香港	183万人	8%
東南アジア+インド	263万人	11%
欧米豪	288万人	12%

	発	着
国際交流	1700万	2400万
	(横ばい) (急増)	
国内交流	6.3億人	
	(長期低迷)	

首都圏空港の航空需要予測



日本旅行の不安材料

1位	言葉が通じること不安	45%
2位	滞在費(現地での費用)が高い	37%
3位	渡航費用が高い	35%
4位	地震が起こるかどうか心配	35%
5位	放射能による健康被害が心配	30%

1. 国内外の旅行者を惹きつける観光資源の磨き上げと広域連携の強化

2. 観光をわが国の基幹産業へ育てる取組の加速

3. すべての旅行者が快適に観光を満喫できる環境整備

① 公的インフラ・施設を活用した観光拠点の整備

① 地域・中小企業における観光需要の獲得

① 首都圏空港・東京港の機能強化

- ・ 水辺空間の賑わい創出と舟運の活性化
 - ・ 観光・交流拠点となる都市公園の整備推進
- ### ② 景観改善などまち歩きを楽しめる環境整備
- ・ 景観の改善・保全に向けた無電柱化の推進
 - ・ 歩行者空間や広場、ベンチ等の街路空間整備の推進
- ### ③ 文化芸術や食に着目した観光資源の開発
- ・ 魅力ある歴史的建築物の活用
 - ・ 文化財・伝統工芸の保存と活用の促進
 - ・ 文化芸術拠点の形成
 - ・ 日本の食文化の観光資源としての更なる活用

- ・ 多言語対応、決済環境、免税制度の利便性向上
- ### ② 宿泊施設の充実と多様化
- ・ 旅館のインバウンド対応の推進、健全な民泊の普及等
- ### ③ 観光産業の生産性向上と人手不足への対応
- ・ 旅行需要の平準化を図る休暇取得の着実な推進
 - ・ 外国人留学生の採用・定着支援
- ### ④ 多様な国・地域からの誘客に向けた観光プロモーションの展開
- ・ 欧米豪など観光先進国からの誘客促進等
- ### ⑤ MICE誘致の促進
- ・ MICE施設の機能強化、ユニークな企画の充実

- ・ 空港容量の拡大、ビジネスジェット受入体制の強化
 - ・ 地方と海外を結ぶ国際線ネットワークの拡充等
 - ・ クルーズ船受入に向けたインフラ整備
 - ・ 貸切バスの営業区域の特例措置の恒久化等
- ### ② 通信環境の向上と誰もが一人歩きできる環境の実現
- ・ 通信環境の整備、観光案内態勢の充実
- ### ③ 観光危機管理体制の強化と外国人患者受入体制の充実
- ・ 自然災害やテロなど緊急・災害対応の強化

④ 長期滞在の促進に向けた日本各地の連携強化

⑥ 国内観光の活性化に向けた戦略的取組の推進

④ ツアーオペレーターの適正管理

- ・ 広域観光周遊ルートの世界水準への改善
- ・ 大都市と地方の地域間連携の促進
- ・ 東北の観光復興
- ・ 観光先進国の実現に向けた推進体制の更なる強化

- ・ 体験型レジャー需要の高まりを踏まえた旅行需要の掘り起し
- ・ 若者の旅行体験の促進等

⑤ アクセシブル・ツーリズムの充実

- ・ 登録制度導入による悪質事業者の実態把握
- ・ ハリアフリー化やユニバースデザインの普及促進